



平成25年4月5日

各 位

会社名 株 式 会 社 図 研
代表者名 代表取締役社長 金 子 真 人
 (コード番号 6947 東証第1部)
問合せ先 財 務 部 長 西 伸 孝
 (TEL.045-942-1511)

子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社図研（代表取締役社長：金子真人、本社：神奈川県横浜市、資本金：10,117百万円）の子会社であります図研エルミック株式会社は、平成24年10月26日に公表いたしました平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の業績予想につき、別紙（平成25年4月5日付「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」）のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、当社の連結業績につきましては現在精査中であり、業績予想の修正を行う必要が生じましたら、速やかに公表いたします。

以 上

平成 25 年 4 月 5 日

各 位

会社名 図研エルミック株式会社

代表者 代表取締役社長 朝倉 尉

(コード番号 4770 東証マザーズ)

問合せ先責任者 管理本部長 江口 慎一

(TEL. 045 - 624-8111)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、元従業員より提起されていた損害賠償請求訴訟について、以下のとおり和解が成立したことにより、特別損失が発生することとなりました。またこの特別損失の発生に加え最近の業績動向を踏まえた上、平成 24 年 10 月 26 日に公表いたしました、平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせします。

記

1. 特別損失の内容

訴訟損失引当金繰入額 72 百万円

2. 特別損失の計上に至った経緯

当社は、元従業員 1 名より、在職中の平成 19 年 10 月に脳疾患を発症したのは当時の就業形態に起因するものだとする損害賠償請求訴訟を、鳥取地方裁判所に提起されておりました。

審理を通して当社の正当性を主張してまいりましたが、この度裁判所より同所の仲介による和解を進めるよう勧告がなされ、弁論準備手続での協議を行う中で慎重に検討を重ねた結果、同所から提示された和解条項を受け入れることとし、平成 25 年 4 月 3 日に訴訟上の和解が成立いたしました。

この和解成立に伴い、本件和解金と訴訟費用の合計 72 百万円を、平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）において、訴訟損失引当金繰入額として特別損失に計上することといたしました。

なお、和解の相手方等の情報については、和解条項に守秘義務条項が含まれるため、詳細の開示は控えさせていただきます。

3. 上記の特別損失の発生及び最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 10 月 26 日に公表いたしました、平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

(金額の単位：百万円)

平成 25 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 24 年 10 月 26 日)	1,500	10	10	0	0.00
今回修正予想 (B)	1,487	△72	△71	△148	△23.68
増減額 (B-A)	△13	△82	△81	△148	—
増減率 (%)	△0.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	1,498	24	34	△52	△8.39

4. 修正の理由

当社のミドルウェア製品事業においては ONVIF 関連製品及びミラーリンク関連製品を中心に引き合い・販売とも当初の想定を上回り堅調に推移いたしました。ハードウェア製品事業における不採算事業の撤退、並びに F A 製品事業における主要需要先業界の設備投資の縮減の影響を受けた販売の伸び悩みを、堅調な分野での販売で補うことはできず、売上高は予想値に未達の見通しとなりました。

営業利益、経常利益につきましては、販管費及び一般管理費の厳格管理は継続しておりますが、開発部門における外注費の増大のため損失計上に至りました。

さらに特別損失として訴訟損失引当金繰入額 72 百万円が発生することとなりましたので、当期純損失が拡大いたしました。

以上の理由により、業績予想を修正いたします。

以 上